

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイト学科 ファッションテクニカルコース 2025年(R7)

分類					授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法					場所		教員		企業との連携
区分	教科名	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験	実習	実技	校内	校外	専任	兼任	
服飾造形	服装造形論Ⅰ	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	1・通年	120	4	○					○		○		
	服装造形デザインⅠ	○			服装造形 デザイン		1・通年	60	2				○		○		○		
	服装造形ソーイングⅠ	○			服装造形 ソーイング	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。 実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	1・通年	330	11		△			○	○		○		○
	服装造形平面構成Ⅰ	○			服装造形 平面構成		1・通年	90	3				○		○		○		
	服装造形立体構成Ⅰ	○			服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・タイトスカート、婦人原型、フレアースカートのドレーピング(文化ヌードボディ使用)	1・通年	30	1		△		○		○		○		
	アパレル生産管理Ⅰ	○			生産企画	生産工場に習い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れを習得すし、品質、原価、納期に関する意識を高めさせる。布地の持つ性質を理解させる。	1・通年	20	2	△			○		○		○		○
		○			生産管理	これらの授業を以下の実物作品を通し1年かけて習得させる。 ○基礎 身頃原型・タイトスカート パターンの基礎、縫製の基礎 ○ギャザースカート 規定デザイン・工業用パターン・実物製作・レポート ○シャツブラウス パターン・実物製作・レポート	1・通年	20					○		○		○		○
		○			アパレル品質論・素材論	○ギャザースカート 規定デザイン・工業用パターン・実物製作・レポート ○シャツブラウス パターン・実物製作・レポート	1・通年	18		○					○		○	○	○
	パターンメイキングⅠ	○			パターンメイキング	○ワンピースドレス デザイン・パターン・実物製作・レポート ○パンツ デザイン・パターン・実物製作・レポート ○小物作り(手づくりフェスティバル)デザイン・実物製作・タグ・販売計画 ○ジャケット デザイン・パターン・実物製作・レポート	1・通年	60	2				○		○		○		
	工業パターンメイキングⅠ	○			工業パターンメイキング		1・通年	30	1				○		○		○		
ファッションデザイン	ファッションデザインⅠ	○			ファッションデザイン画	人体のプロポーション、衣服着装の表現(陰影、しわ、構造線)ができるよう基礎テクニックを中心とした演習。素材表現を習得	1・通年	30	2				○		○		○		
		○			クロッキー	対象物を素早く描くことでそのものの動きや変化を大きく捉え表現する力を習得させる。影の表現法、立体表現含む	1・前期	12					○		○			○	
		○			テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	1・前期	18		△			○		○		○		
	ファッションデザインⅡ	○			ファッション色彩学	色についての基礎的な知識講義。色彩によってデザインにどのような変化おこるのか、視覚的効果が得られるのかなどを習得させる	1・前期	15	1	○			△		○			○	
		○			服装史	古代から現代に至る西洋を中心とした服装の推移発展を映像など使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるようにする概論的講義	1・通年	8		○					○		○		
	ファッションデザインⅢ	○			ファッション情報	市場調査や雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集しファッションデザインに反映させる	1・通年	7		○					○		○		
服飾工芸	服飾工芸Ⅰ	○			服飾手芸	デザインと素材に合わせた技法から、多種多様な技法まで学ぶ。	1・前期	27	4				△	○	○		○		
		○			ニット	手編み(かぎ針、棒針)、編地の種類と特質を理解し編地の組織変化を学ぶ。	1・前期	9						○	○			○	
		○			テキスタイル	テキスタイル(織機)を使用し実物製作を通して、織りの構造を習得させる	1・通年	48						○	○			○	

	Ⅰ	○			染色	生地 の 染色技法を実習を通して学ぶ。1年は絞り染めで染めの基礎を学ぶ	1・後期	6							○	○			○	
		○			アクセサリー	アクセサリー の 基礎知識を製作を通して学ぶ。	1・後期	30								○	○		○	
ファッションビジネス	ファッションビジネス論Ⅰ	○			ファッションビジネス論	自分の感性を分析することやファッション業界全般についてまなぶ	1・通年	12	1	○						○		○		
		○			ショップリサーチ	商品開発や広告の為 の 市場調査、分析等を学ぶ。	1・通年	15		○						○	△	○		
		○			コンピュータワーク	コンピュータ の 基本操作を学ぶ。文章・表計算 の 習得	1・後期	3			○					○		○		
ファッションコーディネート	ファッションコーディネートⅠ	○			コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネート の 基礎知識を学ぶ。	1・通年	21	2	○						○		○		
		○			コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	1・通年	21			○					○		○		
		○			メイク	基礎化粧・肌に合った手入れ方法 の 習得。メイクアップ・顔 の 特徴にあわせたメイク方法やステージで映えるメイク方法 の 習得。フレンチネイルとネイル の 基礎講義。	1・通年	18			○					△			○	
就職	キャリア教育Ⅰ	○			就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書 の 書き方、面接 の 練習等実践教育する。	1・後期	13	1	○						○			○	
		○			企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来 の 職業に対する向上心を深め、卒業後 の 即戦力となる人材になることを目標とする。	1・後期	17						○			○		○	○
一般教養	一般教養Ⅰ	○			茶道	お茶 の 作法から礼儀まで日本文化を学ぶ。	1・前期	9	1		○					○			○	
		○			ビジネスマナー	挨拶 の 仕方や姿勢、名刺 の 交換など社会人として の マナーを学ぶ。	1・通年	16		○						○			○	
		○			美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	1・前期	5		○							○	○		
その他	特別授業	○			校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなど の 研修を受ける。	1・通年	15	1	○							○	○		○
		○			特別講義	企業の方やデザイナーなど の 業界 の 専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15		○						○			○	○
	学校行事	○			学校行事	新入生歓迎会や作品発表など の 行事。	1・通年	30	1		○					○	○	○		
		学年合計				18教科 35科目		単位 1200単位時間												
分類							授業方法 場所 教員													
区分	教科名	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験	実習	実技	校内	校外	専任	兼任	企業との連携	
	服装造形論Ⅱ	○			服装造形 論	基本的な衣服 の 構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服 の 構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、縫製 の 基礎と応用、パターン記号、サイズ の 知識)アイテム別に基本 の デザインから応用デザインまで の 構造を習得させる(ディテール名称含む)	2・通年	120	4	○					○		○			
	服装造形デザインⅡ	○			服装造形 デザイン		2・通年	60	2				○		○		○			
	服装造形ソーイングⅡ	○			服装造形 ソーイング	人体を計測観察し立体 の 基礎知識と技術 の 基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用 の 縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	2・通年	240	8		△			○	○		○			
	服装造形平面構成Ⅱ	○			服装造形 平面構成		2・通年	90	3				○		○		○			

服飾造形	立体構成Ⅱ	服装造形Ⅱ	○			服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・スカート応用、原型ダーツ、ブラウスのドレーピング(eduボディ使用)	2・通年	60	2		△				○	○		○		
	アパレル生産管理Ⅱ	○				生産企画	縫製工場での生産ラインの組立てを理解し生産計画の方法を学ぶ	2・通年	15	2	△				○			○		○	○
		○				生産管理	生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学び製造、生産の管理方法を習得する	3・通年	30						○		○		○		
		○				アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ。	2・通年	15		○						○		○	○	
	パターンニングⅡ	○				パターンニング	デザイン、素材に適したパターンニング(作図)方法を学ぶ。	3・通年	120	4					○		○		○		
	アパレルパターンニングⅡ	○				工業パターンニング	ドレーピングや平面作図より制作したパターンを縫製工場で生産するための工業用パターンに展開する方法を習得する	2・通年	30	2					○		○		○		
		○				グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を学ぶ。	2・通年	18						○		○		○		
		○				CADパターンニング	基本的な原型入力のカ操作を学ぶ・	2・前期	12			○					○		○		
ファッションデザイン	ファッションデザインⅡ	○				ファッションデザイン画	一年次に学んだ基礎を基に、デザイン・色彩の創造過程の習得と演習を通して、より豊かな感性と表現力を身につけさせる	2・前期	30	2					○		○			○	
		○				テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	2・通年	30		△				○		○		○		
	ファッションデザイン学Ⅱ	○				ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ。	2・通年	15	1	○				△		○			○	
		○				モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深める。	2・通年	12		○						○			○	
		○				ファッション情報	雑誌やインターネット、メディアなどからファッションについての情報を収集する方法を習得する	3・通年	3		○						○		○		
服飾工芸	服飾工芸Ⅱ	○				服飾手芸	一年時に習得した服飾手芸の基礎知識を基に更に新しい技術を習得してよりクリエイティブな力を身に付けることを目標とする	2・前期	15	3					△		○	○			○
		○				ニット	手編み(かぎ針、棒針)、編地の種類と特質を理解し編地の組織変化を学ぶ。	2・前期	15								○	○			○
		○				テキスタイル	テキスタイル(織機)を使用し実物製作を通して、織りの構造を習得させる	2・後期	44								○	○			○
		○				帽子	帽子の作り方や構造などの基礎的な知識を製作を通して学ぶ。	2・後期	5								○	○		○	
		○				染色	生地染色技法(型染め)を実習を通して学ぶ。	2・前期	6								○	○			○
		○				アクセサリ	作品にあったアクセサリを製作し、基礎知識学ぶ。	2・後期	5								○	○		○	
ファッションビジネス	ファッションビジネスⅡ	○				ファッションビジネス論	ファッションビジネスの基礎知識を理解。ファッション産業構造の把握と専門業務について理解、習得	2・前期	15	1	○						○		○		
		○				ショップリサーチ	商品開発や広告の為の市場調査、分析等を学ぶ。	2・通年	15		○							○	○		
ファッションコーディネート	ファッションコーディネートⅡ	○				コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネイトの基礎知識を学ぶ。	2・通年	15	1	○						○		○		
		○				コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	2・通年	15			○					○		○		

就職	キャリア教育Ⅱ	○			就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	2・通年	30	2	○						○			○	
		○			企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	30						○			○		○	○
一般教養	一般教養Ⅱ	○			ビジネスマナー	挨拶の仕方、電話の対応。敬語の使い方、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	2・前期	15	1	○						○			○	○
		○			美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	2・前期	15		○							○	○		
その他	特別授業	○			校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	2・通年	15	1	○							○			○
		○			特別講義	業界各分野で活躍中の方を講師に招いての講義	2・通年	15		○						○			○	
	学校行事	○			学校行事	新入生歓迎会や作品発表会、遠足などの行事を通して、コミュニケーションを深め、協調性や責任感、社会性を身につけさせる。	2・通年	30	1		○					○	○	○		
学年合計						19教科	34科目	単位						1200単位時間						
総合計						37教科	69科目	単位						2400単位時間						
						学年授業方法	講義			実験・実習・実技・演習										
						授業総合計	講義			実験・実習・実技・演習										
卒業要件履修方法										授業期間等										
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること										1学年の学期区分						2期				
										1学期の授業期間						21週				

(注)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。※(△については30%程度)
- 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。